

交付運用報告書

損保ジャパン－TCW・MBSオープン（DC年金） Bコース（為替ヘッジなし） 〈愛称〉こむぎ畑（DC年金）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間（2015年11月10日～2016年11月8日）

第11期（決算日 2016年11月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「損保ジャパン－TCW・MBSオープン（DC年金）（Bコース）」は、このたび第11期の決算を行いました。

当ファンドは、高格付の米国ドル建て住宅ローン債権担保証券（モーゲージ証券、MBS）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第11期末（2016年11月8日）	
基準価額	12,124円
純資産総額	111百万円
騰落率※	△13.0%
期中分配金合計	0円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。

運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

〈運用報告書（全体版）の閲覧方法〉

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

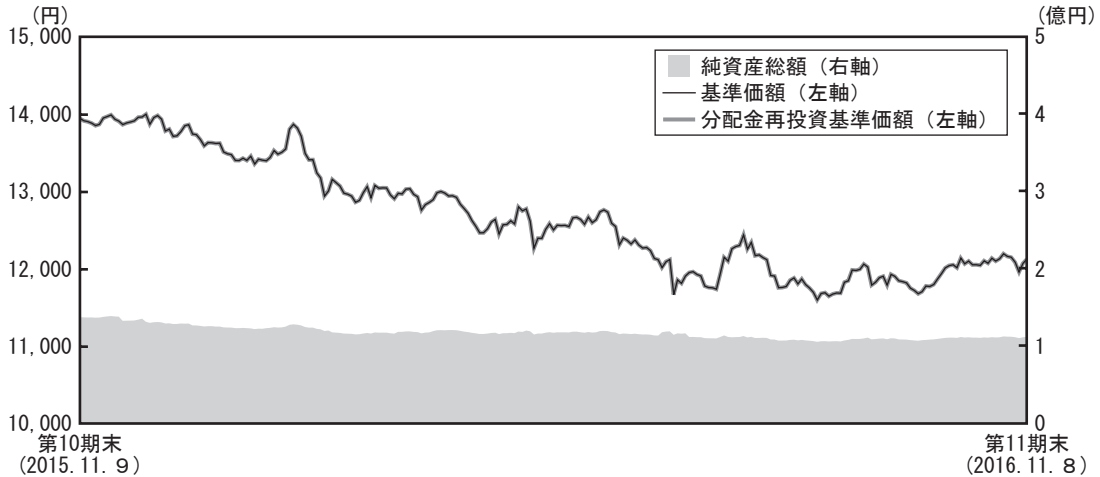
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移



第11期首：13,943円

第11期末：12,124円（期中分配金合計0円）

騰落率：△13.0%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2015年11月9日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

（損保ジャパン・TCW・MBSオープン（DC年金）Bコース（為替ヘッジなし））

主要投資対象である「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」が下落したため、当期の基準価額は下落しました。

（損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド）

期中の騰落率は－12.0%となりました。

MB Sの金利収入等がプラスに寄与した一方で、円高ドル安による為替要因等がマイナスに寄与しました。

■ 1万口当たりの費用明細

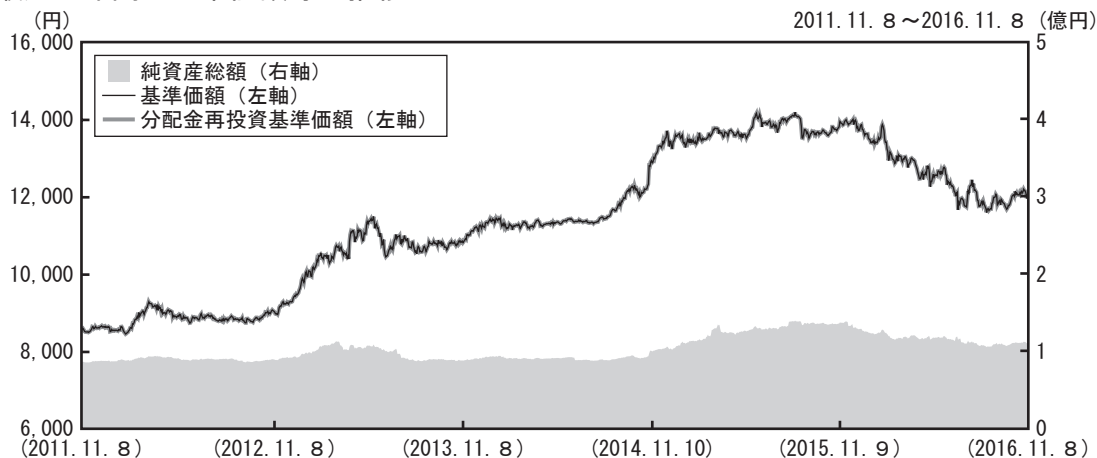
項目	第11期		項目の概要
	(2015年11月10日～2016年11月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	172円	1.357%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,659円です。
（投信会社）	（ 95）	（0.754）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 68）	（0.539）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 8）	（0.065）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	8	0.065	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 7）	（0.058）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（0.007）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	180	1.422	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2011年11月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日		2011年11月8日 決算日	2012年11月8日 決算日	2013年11月8日 決算日	2014年11月10日 決算日	2015年11月9日 決算日	2016年11月8日 決算日
基準価額	(円)	8,622	9,021	10,814	12,881	13,943	12,124
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	4.6	19.9	19.1	8.2	△ 13.0
純資産総額	(百万円)	87	89	88	100	137	111

■投資環境

○米国MBS市場

MBS利回りは第10期末比で低下しました。

期初から2015年末にかけて米5年債利回りは概ね横ばいで推移した後、2016年1月に原油価格や中国をはじめとする世界の株式市場が下落したことを背景に、大きく低下しました。

その後は、FOMC（米連邦公開市場委員会）の声明文や議事録の内容を受け早期の利上げ観測が一進一退となる中で、米5年債は上下する展開となり、6月には英国のEU（欧州連合）離脱に伴う先行き不透明感から市場のリスク回避姿勢が強まり、低下しました。

7月以降は、FOMC参加メンバーによる追加利上げに前向きな発言や良好な米国経済指標を受けて早期の利上げ観測が高まり、米5年債は上昇基調で推移し、期末を迎えました。

MBS利回りは米5年債利回りと同様に低下したため、米5年債との利回り格差は概ね横ばいとなりました。

○為替市場

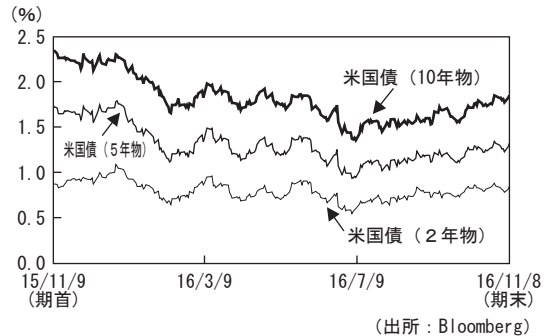
為替市場（ドル円）は円高ドル安が進行しました。

期初から2016年1月にかけては、原油価格や株式市場の下落を背景に円高ドル安基調で推移しました。

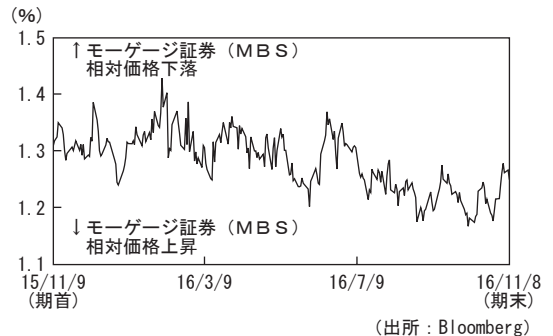
その後はFOMC議事録で早期の利上げ可能性が示唆されたことなどから一時的な円安ドル高局面があったものの、英国のEU離脱決定に伴い米国の追加利上げ観測が後退したとの見方が強まったことや、市場予想を下回る日銀の追加緩和策などを背景に、円高ドル安が進みました。

7月以降は、FOMC参加メンバーによる追加利上げに前向きな発言や良好な米国経済指標を受けて早期の利上げ観測が高まり、緩やかな円安ドル高基調となりました。

米国債利回りの推移



MBS（30年）と米国債（5年物）の利回り格差



(注) 30年物MBSは期限前償還が発生するため、デューレーションが同期限の米国債と比べて短くなります。従って、5年物米国債と比較しております。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

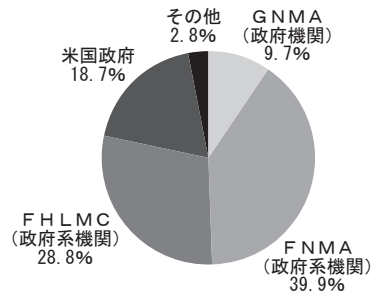
当ファンドの運用については、損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

（損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド）

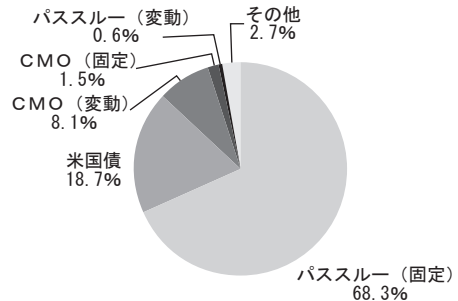
当マザーファンドは米国ドルベースでバークレイズ米国MBSインデックスを上回るリターンを獲得を目指しました。

当マザーファンドのデュレーションは、「バークレイズ米国MBSインデックス」のデュレーションに対して、上下1.5年の範囲内に維持することを基本としております。デュレーションの推移については、総じてベンチマークに対して短めのデュレーションを維持しました。

損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの保有証券発行体別構成比



損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの保有証券種類別構成比



(注1) 各グラフの比率は、第11期末における組入債券評価額に対する割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

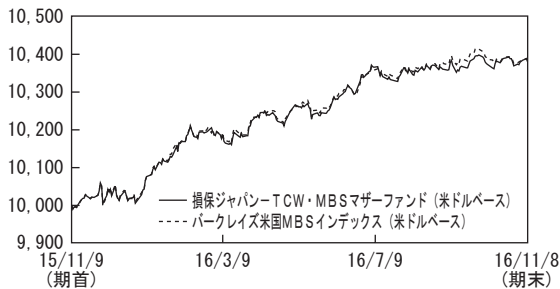
当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異についてご説明します。

＜損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとベンチマークとの差異＞

当期の損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの米ドルベースの騰落率は+3.8%となり、ベンチマークである「バークレイズ米国MBSインデックス」の米ドルベースの騰落率+3.8%とほぼ同水準となりました。

当期は、MBSの銘柄選択要因等がプラスに寄与した一方で、金利が低下する局面においてデュレーションを短めにしていたこと等がマイナスに寄与しました。

損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとバークレイズ米国MBSインデックスの推移（米ドルベース）



(注) 「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」の基準価額（米ドルベース）とバークレイズ米国MBSインデックス[※]（米ドルベース）を比較し、期首を10,000として委託会社にて指数化したものを使用しております。マザーファンドの基準価額（米ドルベース）は、各基準日の基準価額を当日の為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）を用いて委託会社が独自に換算したものを使用しております。なお、各基準日のベンチマークは、基準価額の算出方法に合わせて各基準日の前営業日の数値を使用しております。
[※]バークレイズ米国MBSインデックスは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび関連会社（バークレイズ）が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズに帰属します。

■分配金

収益分配金については、基準価額水準、商品設計等を総合的に勘案した結果、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本部分と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第11期
	2015年11月10日～2016年11月8日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,482

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

（損保ジャパン・TCW・MBSオープン（DC年金）Bコース（為替ヘッジなし））

マザーファンド受益証券への投資割合は原則として高位とします。原則として為替ヘッジを行いません。

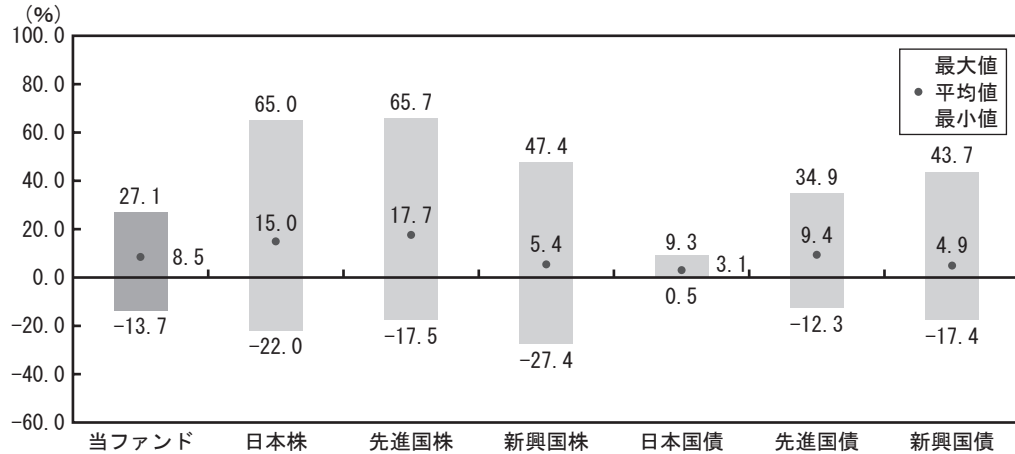
（損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド）

運用にあたっては、MBSの独自のリターンとリスクの特性に留意して個別銘柄選定とポートフォリオ構築を行い、デュレーションをベンチマークであるバークレイズ米国MBSインデックスのデュレーションから原則上下1.5年の範囲内に維持しつつ、アクティブに運用することを基本方針とします。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。	
主要投資対象	損保ジャパン・TCW・MBSオープン（DC年金）Bコース（為替ヘッジなし）	損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド受益証券
	損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド	米国ドル建のMBS
運用方法	<p>①高格付の米国ドル建て住宅ローン債権担保証券（モーゲージ証券、MBS）を実質的な主要投資対象とします。MBSは、主として住宅ローンを担保に発行された証券です。</p> <p>②実質的な投資対象証券は、米国政府または米国政府系機関保証のもの、またはAA格相当以上の長期格付が付与されている民間発行のものに限ります。また、ポートフォリオの平均格付は高位に維持することを目指し、信用リスクの低減に努めます。</p> <p>③マザーファンドの米国ドルベースの運用は、バークレイズ米国MBSインデックスを上回る収益率の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。なおマザーファンドの米国ドル建てMBS運用にかかる権限を、TCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収入及び売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



期間：2011年11月～2016年10月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

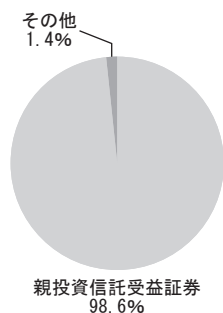
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

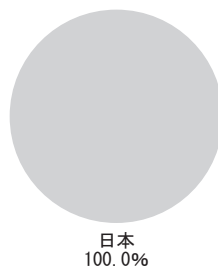
	第11期末
	2016年11月8日
損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド	98.6%

（注）比率は第11期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第11期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	第11期末
	2016年11月8日
純資産総額	111,971,613円
受益権総口数	92,355,394口
1万口当たり基準価額	12,124円

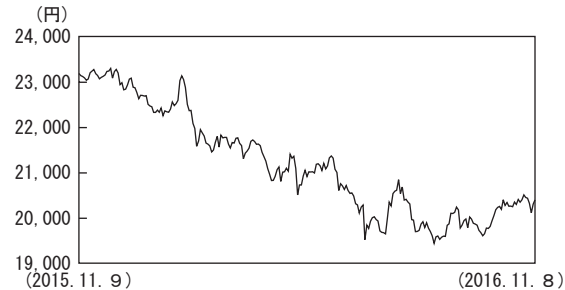
※当期中における追加設定元本額は18,200,842円、同解約元本額は24,450,891円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<損保ジャパンーTCW・MBSマザーファンド>

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

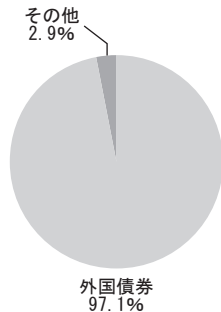
(2015年11月10日～2016年11月8日)

項目	
その他費用 (保管費用)	12円 (12)
(その他)	(0)
合計	12

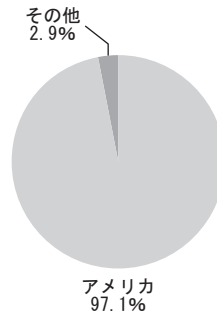
○組入上位10銘柄

	銘柄名	債券種類	通貨	償還日	比率
1	US TREASURY N/B 0.75% 2018/08/31	国債証券	アメリカ・ドル	2018/8/31	14.8%
2	FNCI 2.5 12/16 2031/12/25	特殊債券	アメリカ・ドル	2031/12/25	6.2%
3	FNCL 4 12/16 2046/12/25	特殊債券	アメリカ・ドル	2046/12/25	5.1%
4	FG A95668 2040/12/01	特殊債券	アメリカ・ドル	2040/12/1	3.7%
5	FNCI 2.5 11/16 2031/11/25	特殊債券	アメリカ・ドル	2031/11/25	3.2%
6	G2 MA3736 2046/06/20	特殊債券	アメリカ・ドル	2046/6/20	3.0%
7	FNCL 3 12/16 2046/12/25	特殊債券	アメリカ・ドル	2046/12/25	3.0%
8	US TREASURY N/B 1.125% 2021/08/31	国債証券	アメリカ・ドル	2021/8/31	3.0%
9	FN AH1183 2026/01/01	特殊債券	アメリカ・ドル	2026/1/1	2.9%
10	FG G08715 2046/07/01	特殊債券	アメリカ・ドル	2046/7/1	2.2%
組入銘柄数			70銘柄		

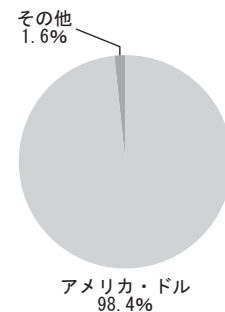
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年11月8日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPI に関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント